



Azure NetApp Files 用のボリュームを作成および管理する Cloud Manager

Tom Onacki, Ben Cammett
June 10, 2021

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/occm/task_manage_anf_volumes.html on June 10, 2021. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

Azure NetApp Files 用のボリュームを作成および管理する	1
ボリュームの作成	1
テンプレートからボリュームを作成する	3
ボリュームのマウント	5
ボリュームのサイズとタグを編集する	6
ボリュームのサービスレベルを変更する	6
Snapshot コピーの管理	6
ボリュームの削除	7
Azure NetApp Files の削除	7

Azure NetApp Files 用のボリュームを作成および管理する

作業環境をセットアップしたら、Azure NetApp Files アカウント、容量プール、ボリューム、Snapshot を作成して管理できます。

ボリュームの作成

NFS または SMB ボリュームは、新規または既存の Azure NetApp Files アカウントで作成できます。

「テンプレート」と呼ばれる Cloud Manager の機能を使用すると、データベースやストリーミングサービスなど、特定のアプリケーションのワークロード要件に最適化されたボリュームを作成できます。組織で使用するボリュームテンプレートが作成されている場合は、次の手順を実行します [以下の手順を実行します](#)。

作業を開始する前に

- SMB を使用する場合は、DNS と Active Directory を設定しておく必要があります。
- SMB ボリュームを作成する場合は、接続可能な Windows Active Directory サーバが必要です。この情報は、ボリュームの作成時に入力します。

手順

1. Azure NetApp Files 作業環境を開きます。
2. [新しいボリュームの追加] をクリックします。
3. 各ページで必要な情報を入力します。
 - * Azure NetApp Files アカウント * : 既存の Azure NetApp Files アカウントを選択するか、新しいアカウントを作成します。新しいアカウントを作成するときは、使用するリソースグループも選択できます。

1 Account

2 Capacity Pool

3 Details & Tags

4 Protocol

5 Snapshot Copy

Azure NetApp Files Account

Choose an Azure NetApp Files account: ☐ Select existing account ☒ Create new account

Resource Group

☐ Create new ☒ Use existing

Resource Group Name

RG1

Account Name

anf1

Azure Subscription

OCCM Dev

Location

West US

- * 容量プール * : 既存の容量プールを選択するか、新しい容量プールを作成します。

新しい容量プールを作成する場合は、サイズを指定してを選択する必要があります "サービスレベル"。

容量プールの最小サイズは 4TB です。サイズは 4TB の倍数で指定できます。

- * 詳細とタグ * : ボリュームの名前とサイズ、ボリュームを配置する VNet とサブネットを入力し、必要に応じてボリュームのタグを指定します。
- * プロトコル * : NFS または SMB プロトコルを選択し、必要な情報を入力します。

以下に、NFS の詳細の例を示します。

Protocol

Select the volume's protocol: ☒ NFS Protocol ☐ SMB Protocol

Protocol

Volume Path

vol1

Select NFS Version:

☒ NFSv3 ☐ NFSv4.1

Export Policy

Allowed Client & Access ?

192.168.1.22/24

☒ Read & Write ☐ Read Only ✕

192.168.1.22/24

☒ Read & Write ☐ Read Only ✕

+ Add Export Policy Rule (Up to 5)

SMB の詳細の例を次に示します。最初の SMB ボリュームを設定するときは、次のページで Active Directory の情報を指定する必要があります。

Protocol

Select the volume's protocol: ☐ NFS Protocol ☒ SMB Protocol

Share Name

vol1

4. 既存のボリュームの Snapshot に基づいてこのボリュームを作成する場合は、Snapshot 名ドロップダウンリストから Snapshot を選択します。
5. [ボリュームの追加] をクリックします。

新しいボリュームが作業環境に追加されます。

に進みます [クラウドボリュームをマウント](#)。

テンプレートからボリュームを作成する

特定のアプリケーションのワークロード要件に最適化されたボリュームを導入できるように、ANF ボリュームテンプレートを作成している場合は、このセクションの手順に従います。

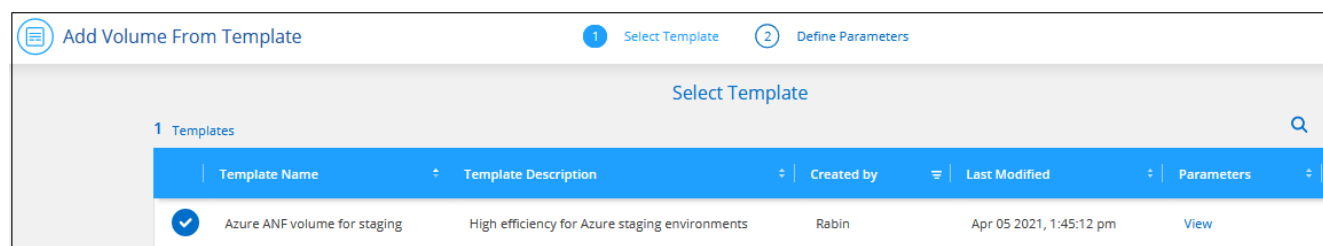
テンプレートを使用すると、容量プール、サイズ、プロトコル、VNet、ボリュームを配置するサブネットなど、一部のボリュームパラメータがテンプレートにすでに定義されているため、ジョブの簡易化に役立ちます。パラメータがすでに事前定義されている場合は、次のボリュームパラメータに進みます。

手順

1. キャンバスページで、ボリュームをプロビジョニングする Azure NetApp Files 作業環境をクリックします。
2. をクリックします [⋮ ボタン] > * テンプレートからボリュームを追加 *。



3. _ テンプレートの選択 _ ページで、ボリュームの作成に使用するテンプレートを選択し、 * 次へ * をクリックします。



Define Parameters ページが表示されます。

The screenshot shows the 'Define Parameters' page. At the top, there's a header 'Define Parameters' and a sub-header 'Enter your values for the actions. Parameters that are locked by the template are not editable.' Below the header, there's a sidebar on the left with the title 'Actions' and a button 'Create Volume in Azure NetApp Files (1)'. The main content area is divided into two sections: 'Volume Details' and 'Protocol'. The 'Volume Details' section contains the following fields:

- Volume Name: A text input field with a placeholder 'Volume Name should start with "staging"'. It has an information icon (i) to its right.
- Volume Size (GB): A text input field with a placeholder 'Minimum value is 160, Maximum value is 185'. It has an information icon (i) to its right.
- Tags: A section with a plus icon (+) and the text 'Add Tags'.

The 'Protocol' section contains the following fields:

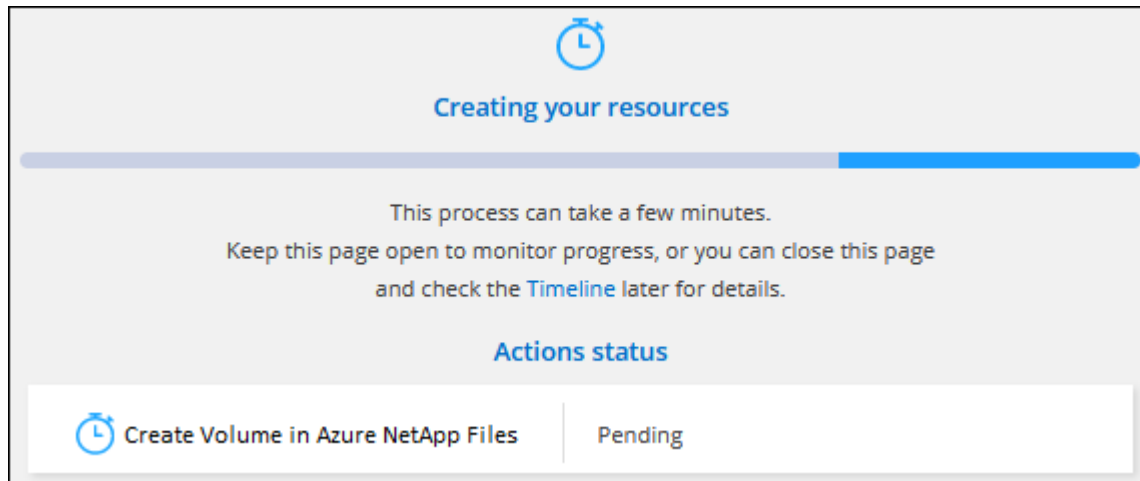
- Protocol: A section with a plus icon (+) and the text 'Add Tags'.
- Volume Path: A text input field with the value 'volPatsdscwwq'.
- Export Policy Rules (up to 5): A section with a plus icon (+) and the text 'Add Tags'.

At the top right of the main content area, there's a checkbox labeled 'Show read-only parameters'.

。注： * 読み取り専用パラメータを表示 * チェックボックスをオンにすると、テンプレートによってロックされているすべてのフィールドを表示できます（これらのパラメータの値を表示する場合）。デフォルトでは、これらの事前定義フィールドは非表示になっており、入力する必要のあるフィールドのみが表示されます。

4. テンプレートからハードコーディングされていないすべてのパラメータに値を追加します。を参照してください [ボリュームの作成](#) ANF ボリュームを導入するために必要なすべてのパラメータの詳細については、以下を参照してください。
5. このボリュームに必要なすべてのパラメータを定義したら、 * テンプレートの実行 * をクリックします。

Cloud Manager によってボリュームがプロビジョニングされ、進捗状況を確認できるページが表示されます。



その後、新しいボリュームが作業環境に追加されます。

クラウドボリュームのマウントに進みます。

ボリュームのマウント

Cloud Manager でのマウント手順を参照して、ホストにボリュームをマウントできるようにします。

手順

1. 作業環境を開きます。
2. ボリュームにカーソルを合わせ、 * ボリュームをマウント * を選択します。



3. 指示に従ってボリュームをマウントします。

ボリュームのサイズとタグを編集する

ボリュームの作成後、ボリュームのサイズやタグをいつでも変更できます。

手順

1. 作業環境を開きます。
2. ボリュームにカーソルを合わせ、* 編集 * を選択します。
3. 必要に応じてサイズとタグを変更します。
4. [適用 (Apply)] をクリックします。

ボリュームのサービスレベルを変更する

ボリュームの作成後は、デスティネーション容量プールがすでに存在しているかぎり、いつでもサービスレベルを変更できます。

手順

1. 作業環境を開きます。
2. ボリュームにカーソルを合わせ、* サービスレベルの変更 * を選択します。
3. 必要なサービスレベルを提供する容量プールを選択します。
4. [変更 (Change)] をクリックします。

ボリュームは、ボリュームに影響を及ぼすことなく、もう一方の容量プールに移動されます。

Snapshot コピーの管理

Snapshot コピーは、ボリュームのポイントインタイムコピーを提供します。Snapshot コピーの作成、新しいボリュームへのデータのリストア、および Snapshot コピーの削除

手順

1. 作業環境を開きます。

2. ボリュームにカーソルを合わせ、Snapshot コピーの管理に使用できるオプションを 1 つ選択します。
 - * Snapshot コピーを作成します *
 - * ボリュームをスナップショットに戻す *
 - * Snapshot コピーを削除します。 *
3. プロンプトに従って、選択した操作を完了します。

ボリュームの削除

不要になったボリュームを削除します。

手順

1. 作業環境を開きます。
2. ボリュームにカーソルを合わせ、* 削除 * をクリックします。
3. ボリュームを削除することを確定します。

Azure NetApp Files の削除

この操作を実行すると、Azure NetApp Files が Cloud Manager から削除されます。Azure NetApp Files アカウントやボリュームは削除されません。Azure NetApp Files はいつでも Cloud Manager に追加できます。

手順

1. Azure NetApp Files 作業環境を開きます。
2. ページの右上にあるアクションメニューを選択し、* Azure NetApp Files の削除 * をクリックします。



3. [削除 (Remove)] をクリックして確定します。

Copyright Information

Copyright © 2021 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.